

霧ヶ峰山行報告

【山行日】2019年11月24(日) 晴れ

【集合】岩舟支所駐車場 AM5:00

【費用】3,700円

【メンバー】CL:鈴木 SL大西

岩淵、齊藤、島田、清水、関、鶴見、並木、福島、松館、渡辺

【コースタイム】岩舟支所P5:00=八島湿原P7:45/8:05→物見石9:10→蝶々深山9:30/9:40→車山乗越10:00→車山山頂10:30/10:45→ころぼっくるヒュッテ11:40/12:15→八島湿原分岐13:00→八島湿原P13:30/13:45=岩舟支所P17:10



今回は伊豆の天城山に登る予定だったが、太平洋沿岸に低気圧があり万三郎岳は小雨の予報。新潟県と長野県は晴れの予報なので、何処に行くか迷ったがこの時季展望が良い霧ヶ峰を計画



した。北関東道から関越道、上信越道と走るのが、時折小雨が降り皆さん心配そうに空を見つめていた。八風山トンネルを過ぎても暗い雲に覆われていたが、佐久南ICで降りて国道142号線から県道152号線に入ると青空が顔をのぞかせる。白樺湖からビーナスラインを走り、八島湿原入口の駐車場に車を止める。ビーナスラインは冬季通行止めになっていたが、ここまでは冬でも車が通行できる。トイレは改装工事中で使用できないが、工事

用の簡易トイレがあるので利用させていただく。準備を整えストレッチを行い、体験山行のS水さんが居るので自己紹介をして出発する。

道路をトンネルでくぐり、八島湿原入口の大きな看板の前で写真を撮り、草紅葉が美しい湿原に降りて行く。草紅葉を楽しみながら木道を歩き八島湿原の北側を半周し、奥霧小屋跡を直進して少し先のトイレで休憩する。ここから緩い登りになり、カヤトの道をジグザグに登って行くと大きな岩が現れる。ここが物見石で、この付近には珍しい鋭角的な岩塔だ。展望も良く振り返ると雪化粧した北アルプスが、南側には中央アルプスの峰々が連なって見える。風も無く穏やかな日和に恵まれ、「こんな良い天気になるなんて思わなかったよ～」と嬉しそう。



一旦緩やかに下り、登り返した広い山頂が蝶々深山だ。大休止し、展望を楽しみながらリンゴや菓子をいただく。ここからの眺望も素晴らしく、車山が間近に見え美ヶ原から北アルプスは



さらに良く見える。展望を楽しんだら緩やかに下って行くが、昨夜の雨で登山道は泥だらけ。とても滑りやすく、登山靴の裏側に泥が纏わりつく。登り返して車山乗越に出ると泥はなくなり、岩の階段を登る道に変わる。S水さんに登り方の指導をしながら登り、リフト終点からの道を合わせると間もなく気象レーダードームが建つ車山山頂に着く。今日は最高の天気恵まれ、蓼科山から八ヶ岳、南アルプスや中央アルプス、北アルプスの峰々が望める。

山頂標識の前で記念写真を撮り、お手製のスイートポテトや柿などをいただきながら展望を楽しむ。展望を楽しんだら西に向かって広い登山道を下り、コロボックルヒュッテに向かって降りて行く。岩がごろごろして歩きにくい、登って来たたおやかな稜線や北アルプスを眺めながら楽しく下れた。ヒュッテ下の岩場に陣取り、きのこ汁を作ってランチタイムとする。キノコの出汁が良く出て、おにぎりと良く合いとても美味しくいただいた。お茶を飲んでランチが済んだら、八島湿原に向かって下山する。登って来た稜線を右手に見ながら、滑りやすい道を下って沢渡を経由してヒュッテみさやまの分岐で最後の休憩をとる。残っている果物や菓子を全部食べ、八島湿原駐車場に向かう。八島湿原南側の木道を歩き、湿原の草紅葉や鷲ヶ峰を見ながら歩くと八島湿原入口に着いた。トンネルをくぐって駐車場に戻り、靴を履き替えたらず帰路につく。車山高原スキー場でトイレを済ませ往路に戻る。途中、佐久南IC入口の道の駅「ヘルシーテラス佐久南」に寄り、野菜や花をゲットし帰路につく。上信越道と北関東度は渋滞も無く順調に走り、岩舟支所に予定より早く帰着した。

